



ベネッセ 日吉保育園 保育の質向上の取組み

平成30年7月4日

株式会社ベネッセスタイルケア

株式会社ベネッセスタイルケアの保育事業

1994年に保育事業を開始、現在、首都圏を中心に53の保育施設を運営。事業開始から24年目を迎えます。

2001年に日本で初めて株式会社として認可保育園の運営を受託して以来、認可保育園を中心に事業を展開してまいりました。



| | 公設民営 認可保育園 | 民設民営 認可保育園 | 認可外 保育施設 | 合計 |
|------|---------------|---------------|-------------|----|
| 東京都 | 7 | 22 | 2 | 31 |
| 神奈川県 | 1 | 15 | 2 | 18 |
| 千葉県 | 1 | | | 1 |
| 埼玉県 | 2 | | | 2 |
| 兵庫県 | | 1 | | 1 |
| 合計 | 11 | 38 | 4 | 53 |

※認可外保育施設
 東京都認証保育所 1/ 企業主導型保育所 1
 事業所内保育室 1 / 認可外一時保育室 1



保育理念

よりよく生きる力の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、
自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

保育目標

- (1) 自分で考えすすんで行動する子ども
- (2) 友だちと楽しく遊ぶ子ども
- (3) 感性豊かな子ども



保育の思いをブランドメッセージとして外部へ発信

その子らしく、伸びていく。

こどもは、自ら伸びていく芽をもっています。

私たちは、その子の芽の、光と水と土でありたい。

人にであい、人とふれあい、

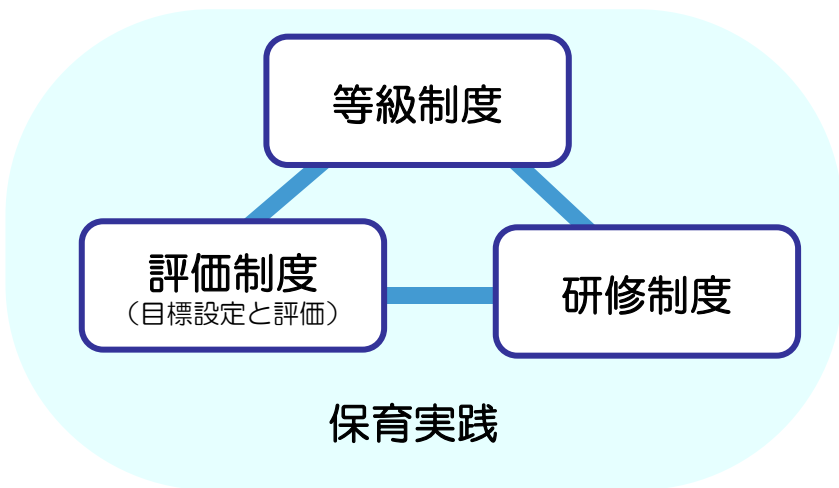
遊び、心がうごく、その瞬間^{とき}にこそ、

学びに向かう意欲が育ちます。

その子の、心の声に耳をかたむけ、かかわることを大切に、

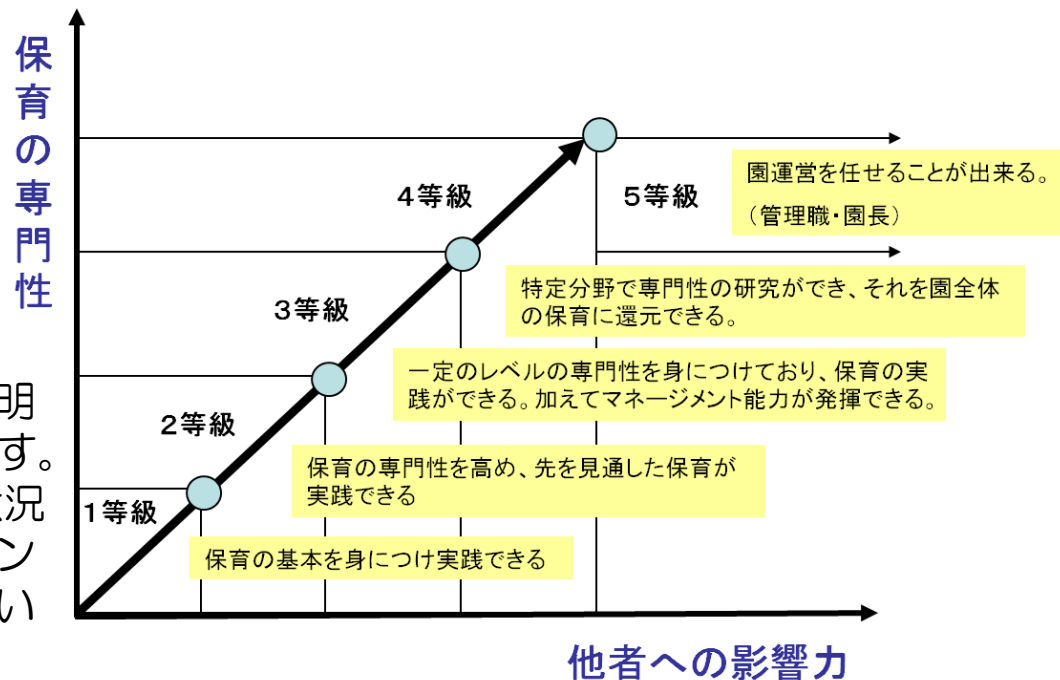
一人ひとりのこどもたちと、私たちは今日も向きあっています。

保育の質は保育者の質と考えています。 保育の質＝『人』



等級制度

一人ひとりが「保育の専門性」を高め、保育の質向上に努めていくことだけでなく、保育の中でのチームワークやリーダーシップ等、「他者への影響力」も高め、バランスよく発揮することを目指しています。



評価制度 (目標設定と評価)

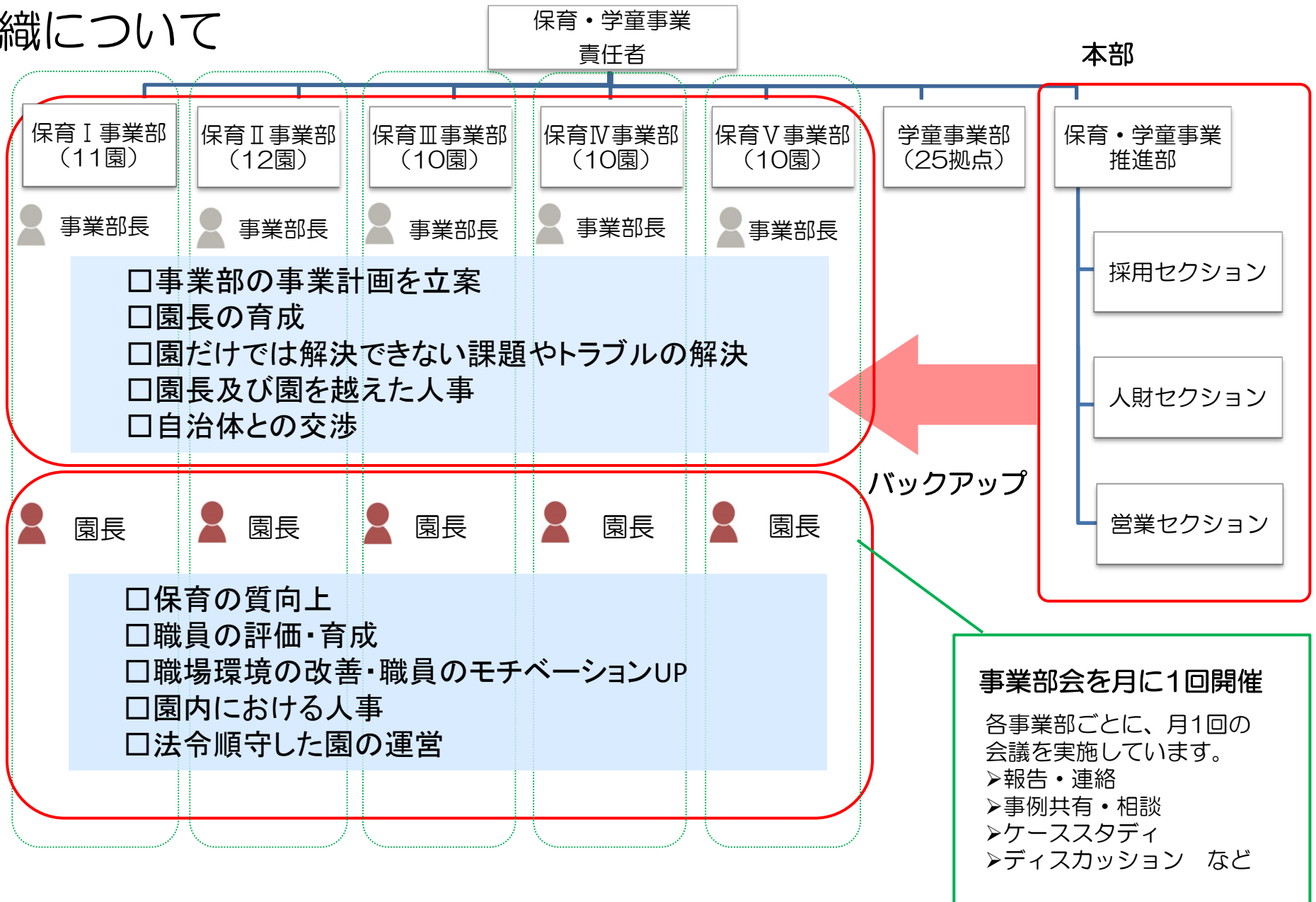
等級に依じて、年度初めに目標を立て、実行項目を明確にし、目標達成に向けて1年間取り組んでいきます。中間(10月)と年度末(2月)に目標への取り組み状況の確認を行います。年3回の園長との面談(チャレンジ面談)を通して、保育者としての成長を確認していきます。

研修制度について

園内研修、園外研修、本部主催研修があります。本部主催研修は、等級・役割に応じて参加します。研修での気づきや学びを仲間と共有し、専門性や考えを深めあっていくことで、一人ひとりが保育者として成長し、子どもと保護者のための、よりよい保育実践へとつながっていきます。

| 本部主催研修 | | | | 園内研修 | 外部研修 | | |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---|----------------------------|----------------|---------|
| 保育の専門性 | | 役職・役割別 | | 全園必須研修 <ul style="list-style-type: none"> ・保育の考え方 ・救命救急講習 ・SPA宣言 ・個人情報保護/情報セキュリティ その他、 園内研修計画に基づく研修 | 各園の職員育成/研修計画に基づく、自治体等主催の研修 | | |
| 5等級 | 安全衛生定例会 テーマ別講演会 水遊びプール講習会・ノロ講習会 | 園長向け研修 | | | | | |
| 4等級 | | 新任園長研修 | | | | | |
| 3等級 | | 育成者研修 | 新任主任研修 | | | ネクストリーダーミーティング | 保育たけのこ塾 |
| 2等級 | | ステップアップ研修 乳児コース 幼児コース | | | | | |
| 1等級 | | 入社時（新卒） 新任研修 マナー研修 フォローアップ研修 | 入社時（中途） 新任研修（映像・対面） フォローアップ研修 | | | | |

組織について



「その子らしく、伸びていく」

一人ひとり違っていいんだよ

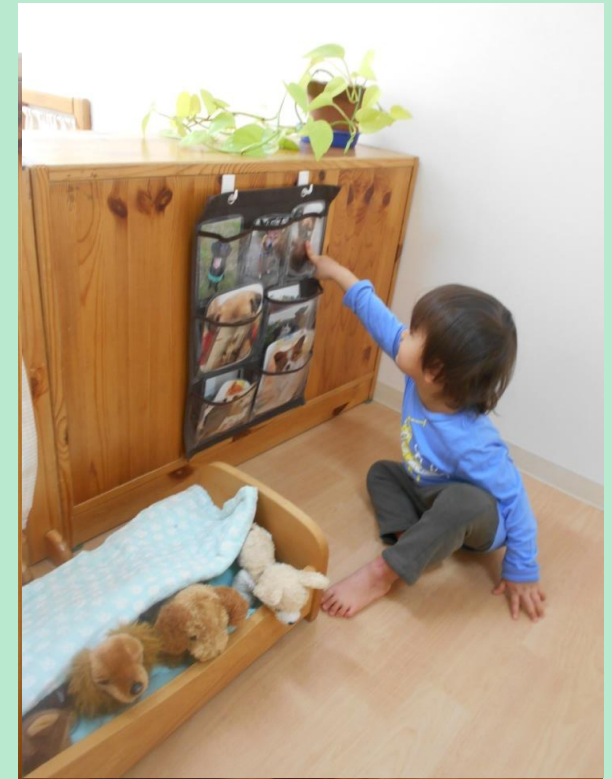
一人ひとりの思いに寄り添う保育

●犬コーナーのエピソード



担任の飼っている犬のラミネート加工された写真

職員達の飼っている犬の写真をラミネート加工する



犬への関心が高まり、遊びにも変化

園長として大切にしていること

①保育者の学び

園内研修

- 保育の専門者としての自覚
- 園全体の方向性の共有

外部研修

- 保育の専門家の知識を吸収

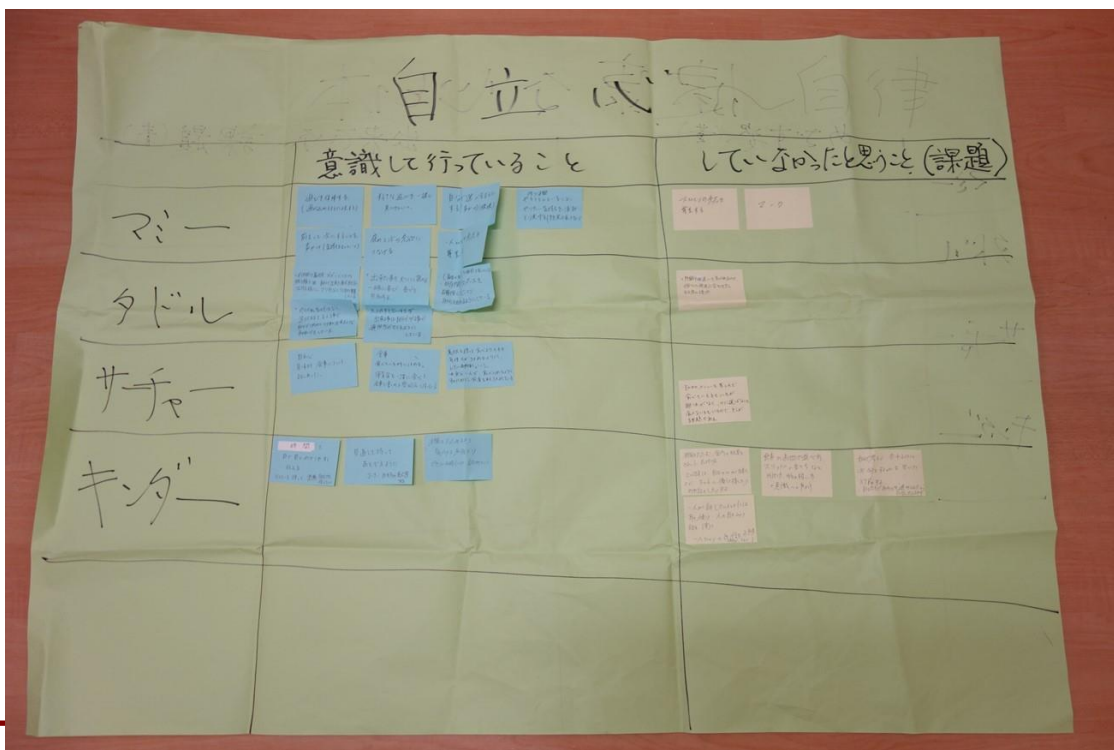
②外部へ向けて開かれた園・地域との連携

平成29年度の取組み

①保育者の学び

《園内研修》

指針の改訂に伴い、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を取り上げ、自分たちの日々の保育と結びつけて考え話し合った。



《外部研修》

■横浜市主催のリーダー研修会に参加

⇒「保育ウェブ」「ドキュメンテーション」を学ぶ

■横浜市の公開保育園として巡回指導を受ける

⇒「愛おしさが伝播する保育」の展開を後押し

⇒「園庭環境の見直し」

園庭環境の見直し



バックヤードだったテラスの一部をこどもが自由に使える遊びのスペースに変えた

雨どいなどこどもの遊びが広がる素材を用意した。



②外部へ向けて開かれた園・地域との連携

- 区の地域イベントに積極的に参加、会場としての提供役割も担う
- 公開保育を機に、地域の保育園からの園見学希望を受入れる

改定指針で明確に示された非認知能力の大切さをこれからも自信をもって推進していきたい。



ご清聴ありがとうございました。